

社会人のための情報システム誌
— 経営近代化のシステム研究 —

Computer Report

2

2012 No.689

3 はじめの言葉

4 世界最高速を奪回したスパコン

どう活かせるか迷えるニッポン

田原文夫

世界最高速の処理性能を実現してみせた京速のスパコン「京コンピュータ」を神戸市ポートアイランドの理研に見学した。改めて「情報処理工場」を連想させてくれるものだった。必要に応じて企業はじめ一般ユーザー組織が導入してきたコンピュータシステムだが、本格的なこれからのネットワーク社会においては、手元にコンピュータ導入をせずとも、ネットワーク端末を駆使することで目的とする情報処理が実現できるようになると言われる。その時、ネットワークの向こうには、こういう大規模情報処理システムとしての巨大コンピュータが備えられことだろうと想像させてくれるものだ。以前「地球シミュレータ」を訪問したこともある。改めて訪問日を確認してみると、2004年7月13日のことだった。それは、地球シミュレータが「世界最速」と評価された月のことだった。果たして7年後に京コンピュータは、その地球シミュレータの持つ処理性能の数百倍の処理能力を持つに至っている。そんなスパコン現場に、またもや「必殺仕訳人」が現れたという。今度は何を言い残したか。一方、依然として我が国の情報処理は混迷しているようだ。個人情報保護には敏感に反応するのに、国家情報の保護にはあまりにも鈍感なようである。地方の首長の胸先三寸で参加が左右される住民基本台帳の情報が東日本大震災の被災地域で流失する事態が発生している。その善後策はどうなっているだろうか。そんな中、企業トップの内部告発で明らかになったオリンパスの有価証券報告書への虚偽記載問題。長きにわたっての株主への裏切り行為にもかかわらず東証はオリンパスの上場継続を決めた。迷える国ニッポンを象徴しているようだ。

1 1 情報社会を考える その17

情報社会作りに、どう関与し、どう貢献していくか

編集部

国のスキーム、企業のスキームを考える人材はどういうビヘイビアをするべきかと考えている矢先、国のスキームを担う政府が、国民を裏切る情報管理活動をしている事実が明らかにされた。一方、企業の経済環境を左右する金融スキームを根底から覆す決定を東証がしたというニュースが飛び込んだ。この国はどうなってしまうのだろうか。まさに、既得権益の代表としての既成政党、団体の横暴はもうゴメンである。これ以上、国や経済界のスキーム作りには手を出さないでほしい。幸にして、既成政党や既存権益集団からの脱却を目指す気運が出てきている。この気運に将来を担う人材が呼応していってくれることを願うばかりだ。

16 日本再生／世界競争力回復のカギ

何故 M-BIM構築が必要か その12 水田 浩

繰り返し主張していることだが、東日本大震災からの復興は、再生日本の契機としなくてはならない。民間企業ベースでの復旧復興作業は、すでに急ピッチで進められている。当然のことながら、民間ベースの建造物建設は、それぞれ独自手法による作業が展開されている。これらの経験から将来的建造物の共通共有テクノロジーの創出に結びつけることは困難だ。本欄で主張する M-BIM 思想に基づいたアプローチとは、正直、かなり距離がある。M-BIM ベースで建造物の建設をすれば、企画立案／計画／設計／施工／維持・保守管理そして廃棄までの一連の作業を通じた生産性向上、品質向上が実現できる。まさに自動車産業のような生産ラインの創出も夢ではなくなってくる。合わせて、そのプロジェクト遂行を通じて、日本が失いつつあるプロジェクトマネジメント力を復活取得する期待も高まる。福島第一原発でも見られるように、建造物のライフサイクルのあり方、捉え方も根底から問われ直されているが、M-BIM にはその対応能力も秘められている。

22 連載 アーキテクチャ論 (10)

アーキテクチャと運用の関係 山本修一郎

国立大学法人 名古屋大学 情報連携統括本部 情報戦略室 教授

最近携帯通信会社の通信障害が多発している[1]。この理由として、急速なスマートフォンの普及があると言われている。これまでの携帯サービスは端末まで含めて通信会社に閉じて開発できていたので、ネットワーク上のトラフィックを見通すことができていた。スマートフォンではオープンな端末を用いて端末上で多様なアプリケーションが利用できるために、ネットワーク上のトラフィックの発生について通信会社側だけでは十分な制御ができにくい状況になってきている。つまり、システムの境界を明確に定義することが困難となって、システム境界の曖昧化が進行している。

今回は、このような社会的なサービスの観点から、アーキテクチャと運用について解説する。

29 東証、セキュリティ監査の根拠を否定

オリンパス事件で誤った判断 aism

オリンパス社の会計監査結果の虚偽報告が日本中を驚愕させたと思いきや、今度は、こともあろうにこのオリンパスの上場継続を東証が認めてしまった。これほど公然とした法律違反はない。これでは、企業組織における会計情報システム上のセキュリティ対策を根底から否定することになる。何でもあり（許される）と宣言したようなものである。東証は、ただちに過ちを認め、本来の社会的責務を全うする道をとるべきである。一方、勢いが増しているのが Android 市場である。Android のアドバンテージは全てオープンであること。事業者はどんどん独自のカスタマイズができる。やりたい放題での市場開拓ができる。しかし、スマホ戦争は3~5年ぐらいで決着がつくだろうという分析もある。最初（今）の Android 関連商品は同じように見える（例えば、バラ色の花）が、間もなく種類の違う花がたくさん出来て、コストも横ばいになり、その時点で優劣が決まり決着がつくという。

3 4 続インテリジェンスへのいざない 26

日本が逸したチャンス

「議事録無し」の呆れた実態

今井 武

福島第一原発事故にかかわる調査レポートが出たというので、かなり興味深くみていたら、何と、多くの重要対策会議の議事録が残されていないという情報が入ってきた。本来、国民が開示されるべき情報がないというのだ。まさに国のトップの責任が問われる問題である

3 7 IT 新時代とパラダイム・シフト

第 2 9 回 米人気クイズ番組で勝利した

IBM ワトソンの未来は

根本忠明

2011 年 2 月、IBM「ワトソン」が人気クイズ番組でチャンピオンに勝利した。全米のメディアは、これをビッグニュースとして大きく取り上げたのである。この「ワトソン」の次のターゲットは、医療現場の診断支援である。スタートしたばかりであるが、今後の成果に注目したい。

4 0 ものの造れる日本再生に向けて 第二／第三の創業へ

Dr.ベスト

第 5 回 日本の政治・行政改革への一提言

「まことに小さな国が、開化期を迎えようとしている・・・」は司馬遼太郎の『坂の上の雲』の一節である。『坂の上の雲』は昨年までの 3 ヶ年にわたり、毎年 12 月に NHK のスペシャルドラマとして映像化され放映されたが、近代日本の開化期すなわち本編でいうところの「第一創業期」にあたる明治維新における日本の存亡をかけた日露戦争・日本海海戦に果敢に挑戦し、懸命に戦った我が国の当時の日本の息吹が思い起こされる作品だった。そして今、誰もが指摘し期待するのが「閉塞状態を打破する日本の春の再現」であり、今の日本人の「喫緊の課題」である。

4 5 一味違うウェブ検索

第十九話 ネタを探す方法 (2) 相反する話題を比較する

ぐうのうえぶへい

ネタを簡単に見つけるには、世の中の相反する 2 つの事柄を見つけ、比較提示することである。一人勝ち、一人負け、新旧交代、世代交代などの事例を見つけ、それを世間が注目する話題に広げ、一般化することである。

4 7 連載 ことわざ笑タイム

すぎやまチヒロ

☆☆

WebCR 編集部からのお知らせ

本誌に連載／掲載されている記事に関するご質問、ご意見をお待ちしております。何でも結構ですので、下記メールアドレスまでお寄せ下さい。

さらに詳しい内容をお知りになりたい方には、本連載執筆者による講演／勉強会方式による準備もしておりますので、今後のシステム開発案件にお悩みの方は、是非ともこのチャンスをご活用下さい。

cr-info@jmsi.co.jp

☆☆

セミナー／講演会の講師紹介

ユーザー会/各種研究会/勉強会における
セミナー/講演会での講師をご紹介します。

クラウドサービス導入前のチェックポイント

クラウドサービスは果たしてTCO削減に寄与するか

レガシーマイグレーションの進め方と留意点

これからの企業情報システム構築のポイント

これからの金融情報システムの課題

役に立つ情報管理の実践と課題

情報セキュリティ監査の受け方／臨み方

リポジトリベースのシステム資源管理

その他 クラウドサービス導入にお悩みの方

など 各種コンサルティングも承ります

ご質問／何でも相談は下記まで
株式会社 日本経営科学研究所
ComputerReport編集部

cr-info@jmsi.co.jp

CR 選書のご案内

CR選書

改訂版
データ・ウェアハウス

定価 本体 2,816円+税 送料(〒300) A5版 289頁

石井 義興 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 目録が必要としているデータ	第七章 情報システム部門しかできないデータ・ウェアハウスのサポート
第二章 データベースとデータ・ウェアハウスの相違点	第八章 データ・ウェアハウスの構築とデータ移行ツール
第三章 OLAP用のデータ・ウェアハウス	第九章 データ・ウェアハウスの利用とエンドユーザーツール
第四章 リレーショナル・モデルとネストド・リレーショナル・モデル	第十章 データ・ウェアハウスの保守とオートメーション
第五章 正確化の問題点とデータ・ウェアハウス	
第六章 データ・ウェアハウス管理システム	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

実践データ・ウェアハウス OLAP

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A5版 249頁

豊島一政・木村 哲 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 これまでのEUCIでできなかったこと	第七章 多次元データベースを作る
第二章 OLAPの定義	第八章 多次元データベースの構造
第三章 Code博士によるOLAPプログラムの評価ツール	第九章 多次元データベースとアプリケーション
第四章 分析処理の歴史	第十章 OLAP/サーバーとフロントエンド
第五章 OLAP(多次元データベース)の形	第十一章 OLAPアプリケーションパッケージ
第六章 データウェアハウスとOLAP	付録

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

消費者行動論

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 181頁

田原文夫 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 消費者行動論	第四章 消費者意志決定
第二章 消費者行動と心理的決定要素	第五章 消費者行動トピックス
第三章 消費者行動と社会的決定要素	第六章 人間であること(人間行動トピックス)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

aism 研究活動報告
インターネットセキュリティの落とし穴

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 197頁

一橋大学教授 安田 聖 監修
aism情報セキュリティ・マシントリプル研究会 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 落とし穴を回避するための基礎テクノロジー	第十一章 WORM、KLEZの監視と駆除記
第二章 aism情報セキュリティマシントリプル研究会の発足	第十二章 メールが通らない
第三章 匿名化された電子署名方式の基本原則	第十三章 生体ネット運用のための情報オーナーの建設
第四章 世界を駆けめぐったCodeRedワーム	第十四章 最近のインターネット防衛戦線心得
第五章 aismの2009年度の事業計画	第十五章 ITガバナンスの意識と情報セキュリティ対策
第六章 情報セキュリティ対策	第十六章 情報セキュリティ対策とセキュリティ教育
第七章 VPN(バーチャルプライベートネットワーク)	第十七章 ケーススタディ「情報セキュリティ教育」
第八章 aismの2008年度の事業計画	第十八章 セキュリティポリシー作成にあたってのノウハウ
第九章 情報セキュリティ情報研究会の発足と課題	
第十章 インターネット関連の苦情と不正アクセス	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

エンタープライズ情報システム設計の基本書！
トップ主導の情報システム革新

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 271頁

高田 顯重 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 情報システム利用環境の変遷と今日的課題	第五章 情報システム監査
第二章 経営活動と情報システム	第六章 情報システム部門の体制革新
第三章 経営情報システム革新の方向	第七章 情報システムの成果評価
第四章 トップ主導の情報システム開発	第八章 変化対応のシステム作り

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

計量モデルの構造と解法
—オーダーリングとスパース—

定価 本体 3,000円+税 送料(〒300) A4版 213頁

安田 聖 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一部 計量モデル	第二部 大規模モデルの効率的解法
第一章 計量モデルと計量モデルの解法と歴史	第五章 計量モデルの分解方法
第二章 線形計量モデルの解法	第六章 方型式のオーダーリング
第三章 非線形計量モデルの解法	第七章 大規模モデルの解法
第四章 反復法の問題点	第八章 スパース
付録・電子計算機の高速化と計量方法	

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

CR選書

『いざ！というときの得広報』
すぐに役立つ実践117カ条

定価 本体 1,748円+税 送料(〒300) A5版 228頁

加藤 洋一 著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

■ 広報ビジネスの前提条件	■ 売定文化企業体質
■ ニュースリリースは東方向運賃	■ 守るも攻めるも広報が窓口
■ 活字媒体の特性をチェックする	■ あなたならどう対応する「事例編」
■ 記事の材料(ネタ)と発表のテクニック	<付> 記事とうまく付き合うための鉄則(まとめ)

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp

ザ・ワールドリンク
がんばれ、国際グローバルサーバー—
IBM社に挑んだ国際情報システム作りの物語

定価 本体 1,848円+税 送料(〒300) A5版 268頁

迫 忠幸・湯浅 誠 共著
(株) 日本経営科学研究所 発行

目次

第一章 発端	第十一章 日本開発手法の違い
第二章 あるプロジェクト	第十二章 米商チーム崩壊の危機
第三章 新しいシステムへの働き	第十三章 新たな仲間
第四章 WOOIに向けて	第十四章 米商事務所移転と新たな組み
第五章 FJO、IBM競争	第十五章 開発フル稼働とバリエーション
第六章 日本プロジェクトチームの発足	第十六章 ユーザー教育
第七章 プロジェクト開始	第十七章 日本運用体制と本番稼働日誌
第八章 米商チーム立ち上りの流れ	第十八章 既存システムとのデータ交換の問題
第九章 大きな壁、英語コミュニケーション	第十九章 稼働中の一 直前、稼働、直後の苦しみ
第十章 米商チーム、異なる三人組	第二十章 稼働中の二 安眠薬と北米センター移設

お申し込み/お問い合わせは cr-sale@jmsi.co.jp